



## 城東地区隊長が墨田区墨田幼稚園で防災講話

東京地本城東地区隊（隊長3等陸佐 河北 秀一郎）は、10月5日（金）、東京都墨田区墨田幼稚園で毎月行われている「勉強会」において、園児の父兄等約100名に対して防災講話を実施した。

講話は、災害派遣に関する規則や条件、派遣の概要、自治体等の災害に対する準備器材等について、隊長の経験や体験を元にした具体的でユニークなわかりやすい説明となっていた。

特に、都立東白髭公園に設置されている災害設備については、「近隣に生活して、いつも目にするものばかりでしたが、もしもの時に役に立つものとは知りませんでした。」という感想や、自衛隊の活動をいつも応援しているという男性からは、「どうしていつも自衛隊が最初に災害派遣に出るのか、災害派遣がどう仕組みで派遣されているのか確認できた。」等の感想が聞かれ、自治体の取り組みや自衛隊の災害派遣を身近に感じていたようであった。

自衛隊の駐屯地や基地が所在しない城東地区隊では、自衛隊の活動をたくさん知ってもらうことでその存在を周知し、更に身近な自衛隊を目指して今後も広報活動を実施して行くとしている。



## 荒井本部長が東京ガス浜松町本社にて防災講話を実施

東京地本本部長 荒井正芳陸将補は、平成30年10月17日、東京ガス浜松町本社において東京ガス社員及び関連企業の社員等約300名に対して防災講話を実施した。

本講話はTOMOS（東京ガス協力企業会）フォーラムの一環として、テレビでは伝えきれない自衛隊の活動を詳しく知りたいという東京ガスコミュニケーションズの依頼に基づき、実施したものである。

第1部では、東北大学教授 今村文彦氏による「東日本震災の経験・教訓と今後の減災への取り組み」の講演が実施された。

第2部では、本部長が、「自衛隊の災害救助」と題し、「自衛隊の任務」、「自衛隊の災害派遣」、「災害派遣の実相」等について講話した。

特に、「東日本大震災の災害派遣の実相」では、聴講者の中には災害時にライフライン（ガス）の復旧活動に携わる方も多数みられ、興味深く聴講している様子であった。

聴講者からは、「台風等による災害が起こる前の情報収集、連絡態勢及び部隊の状況はどうなっていますか」等、多数の質問があり、防衛省・自衛隊の災害派遣活動への関心の高さが見て取れた。

東京地本は、今後も様々な機会を活用し、自衛隊の活動を積極的に伝え、防衛省の理解の拡大に努めていくとしている。

